

# 令和4年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第3号（6月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和4年5月26日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
平年並か高い	平年並か少ない	平年並か多い

○6月の発生予報（沖縄群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			5月の発生量 (平年比)	5月からの 増減	6月の発生量 (平年比)	
カンショ	①	トリバ類	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗）
さとらきび	①	メイチュウ類 (カンシャシンクイハマキ・イネヨトウ)	並	↘	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移（↘）
さとらきび	②	バッタ類	やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
（温かんみかん）	①	黒点病	多	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗） 一部ほ場で発生がみられた
（温かんみかん）	②	そうか病	多	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗） 一部ほ場で発生がみられた
（温かんみかん）	③	ハダニ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
（タカシカキ）	①	かいよう病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
（タカシカキ）	②	そうか病	多	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗） 一部ほ場で発生がみられた
（タカシカキ）	③	ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
マンゴー	①	ハダニ類	やや多	↘	やや多	平年の発生量の推移（↘）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○6月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			5月の発生量 (平年比)	5月からの 増減	6月の発生量 (平年比)	
オ ク ラ	①	うどんこ病	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
	②	アブラムシ類	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
	③	チョウ目幼虫 (オオタバコガを除く)	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値

●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マ ン ゴ ー	炭疽病・軸腐病	出蕾・開花期から感染が確認されているので、登録農薬によるスケジュール散布を行う。
	ドクガ類	新葉で発生が見られるので、施設内を見回り、早期発見・早期防除に努める。
オ ク ラ	マイマイ類	樹上に移動し、葉を食害する。樹上に移動すると防除が困難になるため、定植前や作物にかからないようにほ場周辺に登録農薬を散布し、密度を低減する。樹上に移動した場合は捕殺に努め、登録農薬を散布する。

# 令和4年度 宮古群島 病害虫発生予報 第3号 (6月予報)

○向こう1か月の天候の見通し (令和4年5月26日発表：沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
平年並か高い	平年並か少ない	平年並か多い

○6月の発生予報 (宮古群島)

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			5月の発生量 (平年比)	5月からの 増減	6月の発生量 (平年比)	
さとうきび	①	メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ・イネヨトウ)	並	↓	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移 (↓)
マンゴー	①	ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
オクラ	①	フタテンミドリヒメヨコバイ	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	②	チョウ目幼虫 (オオタバコガを除く)	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫 (宮古群島)

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭疽病・軸腐病	出蕾・開花期から感染が確認されているので、登録農薬によるスケジュール散布を行う。
	ドクガ類	新葉で発生が見られるので、施設内を見回り、早期発見・早期防除に努める。

# 令和4年度 八重山群島 病害虫発生予報 第3号（6月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和4年5月26日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
平年並か高い	平年並か少ない	平年並か多い

○6月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		5月の発生量 (平年比)	5月からの 増減	6月の発生量 (平年比)	
さとうきび	① メイチユウ類 (カンシャシクイハマキ・イネヨトウ)	並	↓	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移(↓)
オクラ	① うどんこ病	並	↓	並	平年の発生量の推移(↓)
	② フタテンミドリヒメヨコバイ	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
	③ オオタバコガ	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭疽病・軸腐病	出蕾・開花期から感染が確認されているので、登録農薬によるスケジュール散布を行う。
	ドクガ類	新葉で発生が見られるので、施設内を見回り、早期発見・早期防除に努める。

向こう1か月の天候の見通し  
沖縄地方（05/28～06/27）

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は平年並か高いでしょう。
- 前線や湿った空気の影響を受けにくいいため、向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いでしょう。
- 期間のはじめは、前線や湿った空気の影響を受けやすいため降水量は多く、日照時間が少ない状態が続く見込みです。

1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	低20 並 <b>40</b> 高 <b>40</b> % <b>平年並か高い</b> 見込み	少 <b>40</b> 並 <b>40</b> 多20% <b>平年並か少ない</b> 見込み	少20 並 <b>40</b> 多 <b>40</b> % <b>平年並か多い</b> 見込み
数値は予想される出現確率（%）です			

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、本州付近では平年より低いです、沖縄付近では平年より高くなっています。このため、本州付近では前線や湿った空気の影響を受けやすいですが、沖縄付近では太平洋高気圧の張り出しが強い見込みです。

上空約1500mの気温（右図）は、九州・沖縄付近では平年より高い予測となっています。

地上気圧

上空約1500mの気温

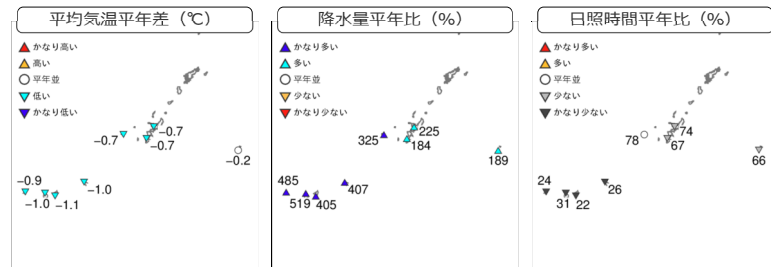
季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

	平均気温（1週目） 05/28～06/03	平均気温（2週目） 06/04～06/10	平均気温（3～4週目） 06/11～06/24
週別の天候	梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	前線や湿った空気の影響を受けにくいいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
沖縄地方	低20 並30 高50% <b>高い</b> 見込み	低20 並 <b>50</b> 高30% <b>平年並</b> の見込み	低30 並30 高 <b>40</b> % <b>ほぼ平年並</b> の見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（1週目）</p> <p>低い確率(%) 50 40 40 50 高い確率(%) 以上 平年並も40% 以上</p>	<p>平均気温（2週目）</p> <p>低い確率(%) 50 40 40 50 高い確率(%) 以上 平年並も40% 以上</p>	<p>平均気温（3～4週目）</p> <p>低い確率(%) 50 40 40 50 高い確率(%) 以上 平年並も40% 以上</p>

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>) をご覧ください。文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

最近1週間の天候経過



(実況) 05/19～05/25	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
沖縄地方	-0.9℃（低い）	364%（かなり多い）	46%（かなり少ない）

参考

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上	高い（多い）見込み
(20 : 40 : 40)	平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。  
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>



天気日数（晴れ日数及び降水日数）の平年値につきましては、次のページをご覧ください。  
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>

